

2025 年度

大学院 経済学研究科〔博士課程(後期)〕

第Ⅱ期 入学試験問題

論 文

Doctoral Course

◇試験時間……………10:00～11:00

◇解答時間……………60分

◇解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。

◇問題は全部で1ページある。試験開始後、乱丁・落丁がないか確認すること。

問 1. 多くの国で、企業が労働者に支払わなければならない最低限の時給を定める最低賃金制度が見られる。日本においても、労働者の利益のために最低賃金の引き上げを求める声は強く、政府はこれまで最低賃金を毎年引き上げてきた。しかし、このような政府の労働市場への介入が結果として失業を発生させる、と批判されることも多い。

最低賃金制度をはじめとする政府による価格規制が経済に及ぼす影響について、経済理論モデルを用いて説明しなさい。その際、以下のキーワードを適宜使用してもよい（必ずしも全て用いる必要はない）。

[キーワード]

需要曲線、供給曲線、市場均衡、均衡価格、均衡需給量、超過需要、超過供給、消費者余剰、生産者余剰、総余剰、パレート効率的、社会的損失、上限価格（プライス・シーリング）、下限価格（プライス・フロア）、最低賃金、均衡賃金、失業

問 2. ある国において、生産関数が以下の式で与えられるとする。

$$Y = AK^\alpha L^{1-\alpha}, \quad 0 < \alpha < 1$$

ただし、 Y は総生産（国民所得）、 K は資本ストック量、 L は労働投入量、 $A (> 0)$ は技術水準（全要素生産性）である。ソロー経済成長モデルに基づき以下の問いに答えなさい。

- (1) この生産関数が規模に関して収穫一定であることを示しなさい。
- (2) 資本の限界生産物（ MPK ）と労働の限界生産物（ MPL ）を求めなさい。
- (3) 当初、経済は定常状態にあり $A = 1$ 、 $K = 400$ 、 $L = 400$ 、 $\alpha = 1/2$ であったとする。このときの総生産（ Y ）を求めなさい。
- (4) このときの資本の実質レンタル価格と実質賃金を求めなさい。
- (5) いま、自然災害によりこの経済の資本ストックの 75%が破壊されたとする。それ以外の定数の値は不変である（ $A = 1$ 、 $L = 400$ 、 $\alpha = 1/2$ ）として、この場合の総生産（ Y ）を求めなさい。
- (6) この場合の資本の実質レンタル価格と実質賃金を求めなさい。
- (7) この経済の貯蓄率が 20%（ $s = 0.2$ ）、資本減耗率が 20%（ $\delta = 0.2$ ）、労働（人口）の成長率が 0%（ $n = 0$ ）であるとして、自然災害で資本ストックが破壊された直後の労働者 1 人あたりの資本ストック（ $k = K/L$ ）の成長率を求めなさい。